

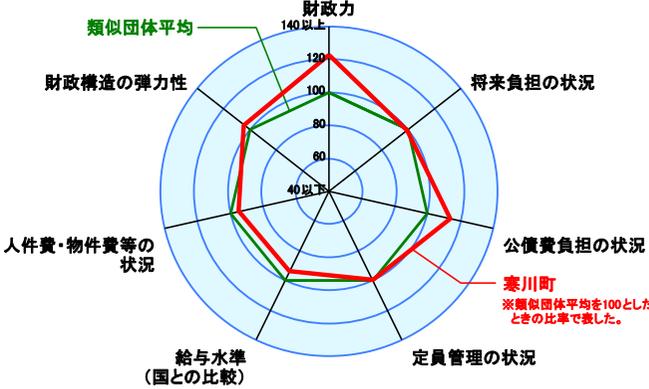
市町村財政比較分析表(平成20年度普通会計決算)

財政力



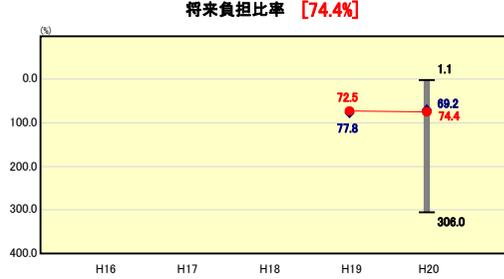
● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

人口	47,569人(H21.3.31現在)
面積	13.42 km ²
標準財政規模	10,311,587千円
歳入総額	16,311,510千円
歳出総額	15,301,018千円
実質収支	603,595千円



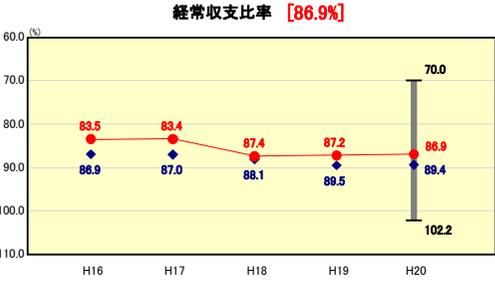
※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

将来負担の状況



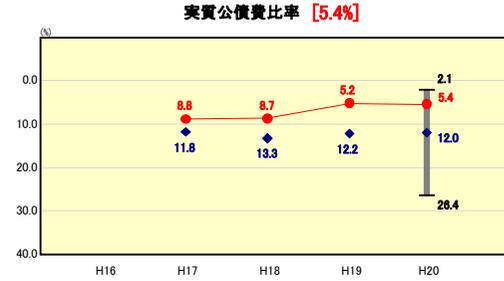
類似団体内順位 46/153
全国市町村平均 100.9
神奈川県市町村平均 154.5

財政構造の弾力性



類似団体内順位 37/153
全国市町村平均 91.8
神奈川県市町村平均 83.1

公債費負担の状況



類似団体内順位 16/153
全国市町村平均 11.8
神奈川県市町村平均 13.7

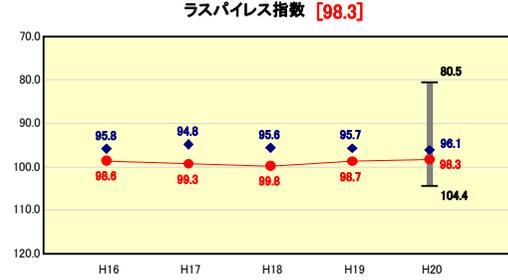
人件費・物件費等の状況



類似団体内順位 116/153
全国市町村平均 114,142
神奈川県市町村平均 101,867

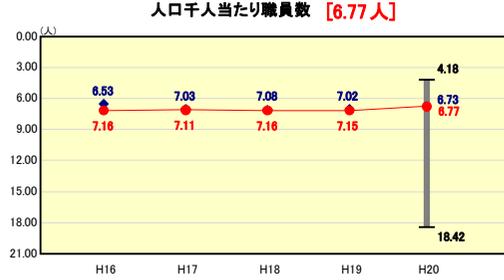
※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

給与水準 (国との比較)



類似団体内順位 104/153
全国市町村平均 98.4
全国市町村平均 94.6

定員管理の状況



類似団体内順位 77/153
全国市町村平均 7.46
神奈川県市町村平均 6.34

分析欄

【財政力指数】平成16年度の1.13から20年度の1.26と常に上昇してきているのは、業種の異なる企業が集積しているため、比較的景気の変動を受けにくい町の産業分布となっていることがあげられる。昭和56年度から28年間、財政力指数は1.0以上をキープし、数字自体は類似団体を大きく上回っているが、財源の確保には非常に厳しいものがある。今後も経常経費の削減はもとより、「入るを量りて、出ずるを為す」という財政の基本に立ち、身の丈にあった取組みを進めるとともに、新たな財源確保に努めていく。

【経常収支比率】歳出比較分析表を参照。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】決算額は平成19年度と比較して7,261円の減額となっている。これは、人件費では、退職者の給料月額総額が、新規採用者のそれを上回ったことによる減額と、物件費では、総合図書館の図書購入費の減額などによるものである。今後は、町有施設等の老朽化に伴う維持補修費の増加していくことが見込まれる。類似団体平均を上回っている主な要因である人件費については、今後も国等の状況を参考に給与を決定し、さらには特殊勤務手当の廃止など、歳出の削減に取り組み、適正化を図っていく。

【将来負担比率】平成19年度の72.5から74.4と1.9ポイント上昇しているのは、新たに用地取得事業特別会計において、先行取得に係る地方債を借り入れたためである。類似団体平均との比較においても今回の借入により逆転し上回っている。今後、リサイクルセンターの整備事業が始まり、新規地方債の起債が見込まれており、今後は、新たな財源確保と税の徴収確保に努めるとともに、事務事業評価等により徹底した事業の見直しを行い、財政の健全化に努めていく。

【実質公債費比率】平成10年「かながわ・ゆめ国体」開催のため整備した公園等に対する元金償還や減税補てん債が公債費の大きなウエイトを占めている。また、類似団体平均を6.5ポイントと大きく下回り5.4%となっているが、平成18年度から臨時財政対策債の元金償還が始まり、町の重点施策である「寒川駅北口地区土地区画整理事業」も終了に向けてピークを迎える。さらには新規地方債の発行が見込まれる事業の計画もあるため予断を許さない状況にある。

【人口千人当たり職員数】区画整理事業や新幹線新駅設置など大きなプロジェクトを推進している中、保育園やごみ収集の民間委託を進めているが、類似団体比較では平均を若干上回っている。今後も事務事業の見直しや効率化の徹底、柔軟な職員配置を行うとともに、退職者不補充により定員管理の適正化を推進していく。

【ラスパイレス指数】今後も国等の状況を参考に給与を決定し、ラスパイレス指数の適正を図っていく。